

自然豊かな平石で本物の 伝統文化を伝える

さくらみなみ保育園

自然豊かな平石で子どもたちを育てたい

2006年6月に開園したさくらみなみ保育園。建設当時、子どもたちを育てるなら田んぼや畑、野山がすぐ近くにあることを目指して土地を選定しました。思い描いた土地を取得することができ、今もその立地を生かして畑での野菜作り、田植え、稲刈りなど地域の農業に関わる方々の協力を得ながら子どもたちの活動は進んでいます。この地域には散歩コースにぴったりの平石神社、城山、永井川公園、平石小学校、特別養護老人ホームはなしのぶがあり、子どもたちは毎日散歩に出掛け、道端にある自然との出会いを楽しんでいます。

自然界には、テントウム虫、トンボ、ザリガニ、おたまじゃくし、かえる等たくさんのお会いが待っています。タモロコ（小魚）やザリガニつりをして飼育をし、一年中水槽をのぞきこんで暮らしています。虫が苦手な子どもクラスで共同で飼育することで興味と関心がわきいつの間にか世話活動ができていたりします。園舎のまわりに本物の自然があることが大事でその経験が子どもたちを成長させていきます。

日本の伝統文化を基本に展開される保育

太鼓・民舞・わらべうたが保育方針のひとつにあげられています。日本の伝統的な楽器や肉声で歌われてきたわらべうたを子どもたちに伝え続け、心身ともに健康に育てて欲しい願いがあります。日本人は農耕民族であると言われていています。古くから農作物との関わりが深く各地域で歌い継がれた民謡やお囃子、民舞は時代が変化してきても、作物の豊作やそこで暮らす人々の病を退治してくれる物として踊り継がれてきました。

職員も子どもたちもプロの民族歌舞団の方々の演目に触れながらそれを身体全体で受けとめ五感をフル回転させながら夢中になっていきます。保護者の皆さんとも一緒にワークショップに取り組んでもらったりしています。職員は行事のたびに太鼓の披露やわらべうたなどの合唱曲にチャレンジし、日々研修を続けています。子どもたちには本物を伝えつづけ職員も少しでもそこに近づけるよう学び続ける姿勢を大事にしています。

子どもの成長を保護者、 地域と共に見守り育て合う営みへ

2011年3月に起きた東日本大震災から10年目をまもなく迎えます。あの時保育方針は大きく揺らぎました。自然がいかに大切なものなのか、そして人との関わりや科学的学びがいかに大事なものなのかをおもい知らされた私たちでした。子どもたちを守り続け、保育をいかに前へ進めるかは保護者はもちろん職員集団として力量を試された出来事でした。あの時「何もできない」ではなく放射線を測り続け安全と安心をみんなで共有した私たち。今でも子どもたちに何ができるのかを問い続けています。今の新型コロナウイルスで、行事や保育活動がたくさん自粛せざるを得ませんが、それでも「何ができるか、どうすればできるのか」を問い続け、地域はもちろん、県内や全国の仲間たちとこれからも手をつなぎ、子どもたちの未来と働く保護者の皆さんの力になれるよう保育を進めたいと考えています。

事業計画

①事業名「民舞・和太鼓」

(目的) 日本の伝統文化にふれ、豊かな感性を育む。

- (内容)
- ・子どもたちの運動能力の向上と日本の伝統文化を地域の方々とも連携をし、保護者の理解を深める。
 - ・地域小規模保育園、姉妹園、小学校、保護者等をまきこみ理解を深めるとともに、日本の伝統文化に親子でふれ合い情操的にも豊かに育ちあえるようにする。
 - ・荒馬踊りや太鼓の指導を直接体験することで、子どもや保護者たちの親子のふれあいを大切にする。
 - ・専門家の本物の文化を鑑賞し豊かな感性を育てる。

～活動紹介～



ほうねん座による豊年踊り



親子のワークショップ



年長児の荒馬踊り



職員によるぶち合わせ太鼓



年長児の竹おどり

②事業名「わらべうた」

(目的) ピアノ・リコーダーなどを使いながら様々なわらべうた遊びに親しむ。

(内容) ・毎日わらべうた遊びに触れ、時には子どもたちに専門家による文化的な要素を取り入れ子ども、保育者への支援を行なう。また、わらべうたに取り組み子どもたちの聞く、みる、遊ぶ等協調性の力をつける。

- ・専門家による「わらべうた」の指導支援は、家庭生活においても親子のふれあいが減少しつつあった現状に即している。心地よい響きによるわらべうたは、母親からの母乳にも匹敵すると言われて、全家庭から信頼を得る活動となっている。

～活動内容～



専門家によるわらべうた講座



七夕まつり・わらべうたあそび



親子のわらべうたあそび

③事業名「農作物と自然との関わり」

(目的) 姉妹園年長児・地域の方々との田植え、稲刈りを体験し交流を促進する。

- (内容)
- ・他園の年長児や地域の方々との田植えと稲刈りに取り組む。
 - ・自然に触れる機会が少なくなった子どもたちと田植えや稲刈りを通じて、自然と触れ合う機会や意識づけをする。
 - ・園の畑を活用し、年間を通じて野菜栽培に取り組み食育活動へもつなげる。
 - ・平石の豊かな自然を利用し散歩、散策活動をする。

～活動紹介～



地域の方々との田植え



稲刈りに取り組んで



上手に刈れたよ



さつまいも植え



サヤエンドウの収穫



よもぎクッキー作り



地域をめぐる散歩